令和４年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査分析と今後の取組みについて

体育部　体力テスト担当

４月～７月に全国の５年生を対象に実施された全国体力・運動能力、運動習慣等調査の本校の結果概要等をお知らせいたします。成果と課題に基づき、さらに子どもたちの力が伸びるよう取組みをすすめてまいります。

１．調査の概要

〇実技テスト（８項目）

握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	２０ｍ シャトルラン	５０ｍ走	立ち幅 とび	ソフトボール 投げ

〇質問紙調査

１週間の総運動時間、体格、生活習慣、運動やスポーツに対する意識等

２．体力合計点

・全国平均は、令和元年度調査より連続して男女ともに低下が見られる。

・本校は、令和３年度に前回より低下が見られたが、今年度は改善が見られた。

３．実技テスト種目別の状況

・男女ともに「握力」「長座体前屈」は全国平均を上回っている。

・男女ともに「上体おこし」「２０ｍシャトルラン」は全国平均を下回っている。

４．運動やスポーツに対する意識

・「運動が好き」と答えた女子児童は、全国平均より低い。

・「朝食を毎日食べる」「睡眠時間が９時間以上」と答えた児童は、男女ともに全国平均より高い。

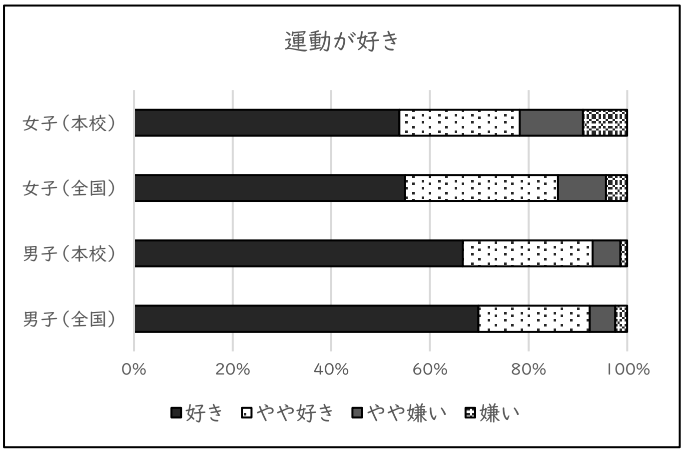
・「平日の視聴時間」（スマホ、ゲーム等の視聴時間、いわゆるスクリーンタイム）は、男子は全国平均並み、女子は二極化が見られる。

・「体育の授業は楽しい」と答えた男子児童は、全国平均より低い。

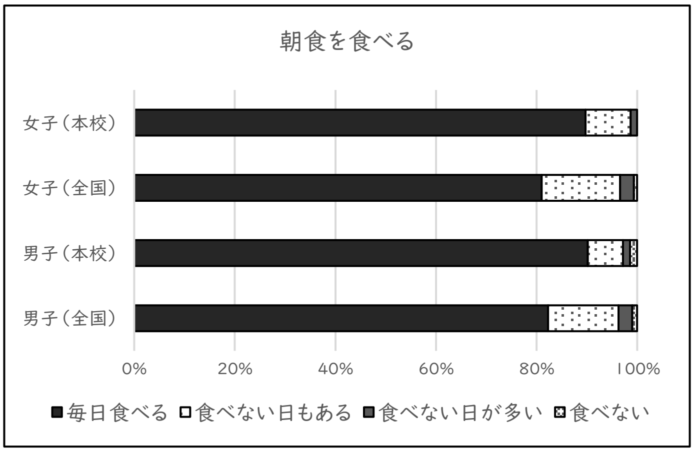
５．今後の取組み

・「運動が好き」「体育の授業は楽しい」と思える授業改善の取組みを進めるとともに、体育的行事の見直しや精選に努めます。

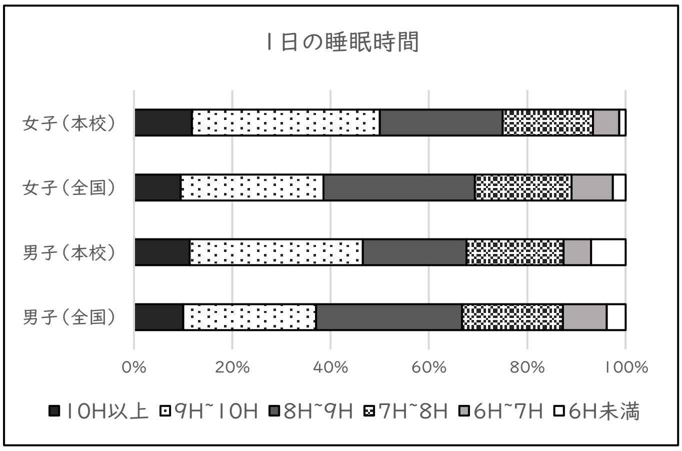
◇　女子の肯定的回答が低い。



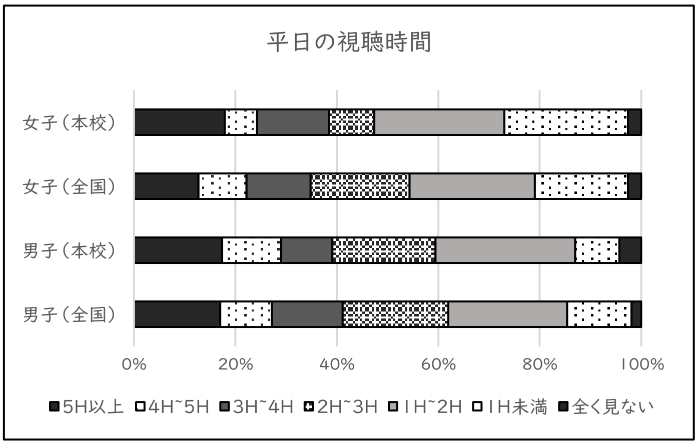
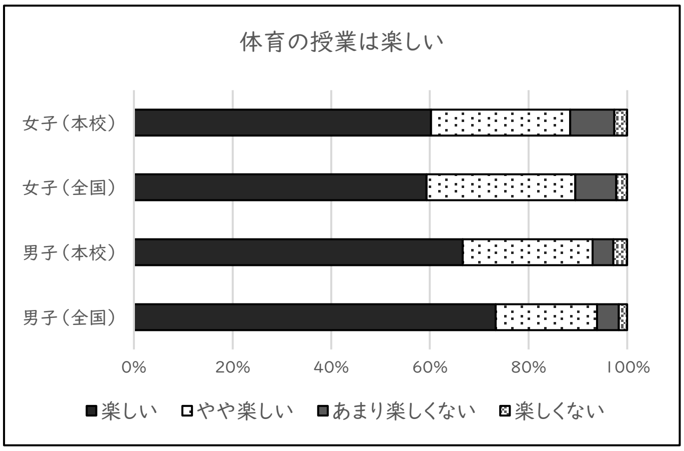
◇　男女ともに「毎日食べる」の割合が高い。



◇　男女ともに「9H以上」寝ている割合が高い。



◇　女子は「3H以上」と「2H未満」の二極化が見られる。



◇　男子の「楽しい」の割合は低い。